

## 8-1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（2006年11月～2007年4月） Seismic Activity in and around Kinki, Chugoku and Shikoku Districts (November 2006 - April 2007)

気象庁 大阪管区気象台  
Osaka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、近畿・中国・四国地方とその周辺でM4.0以上の地震は17回、M5.0以上は2回発生した。このうち最大は、2007年4月15日に三重県中部で発生したM5.4の地震であった。

2006年11月～2007年4月のM4.0以上の震央分布を第1図(a)及び(b)に示す。

主な地震活動は以下のとおりである。

### (1) 大阪府北部の地震（M3.7, 最大震度4, 第2図）

2006年11月3日06時24分に大阪府北部で深さ8km, M3.7（最大震度4）の地震が発生した。余震活動は3日間ほどでほぼ収まり、その後しばらくは散発的な活動が続いた。今回の地震の震央付近は、活発な地震活動域であるが、2002年頃から微小な地震も含めた地震回数が少ない状態で推移している。

### (2) 愛媛県東予の地震（M5.3, 最大震度4, 第3図）

2007年4月26日09時02分に愛媛県東予で深さ39km, M5.3（最大震度4）の地震が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生したもので、発震機構は東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震の震源付近では、2005年5月27日にM4.7の地震が発生しており、最近10年程度の活動を見ると、ここ数年はやや活発な状況で推移している。

### (3) 最近の西日本の地震活動について（第4図）

1923年8月以降の西日本内帯における地震の発生状況を調べてみたところ、昭和の東南海・南海地震の前後（1930年代～40年代頃）に見られた活発な地震活動と比較して、最近が同等に活発な状況にあるとは認められない。

### (4) その他の地震活動（第5, 6, 7図）

2006年

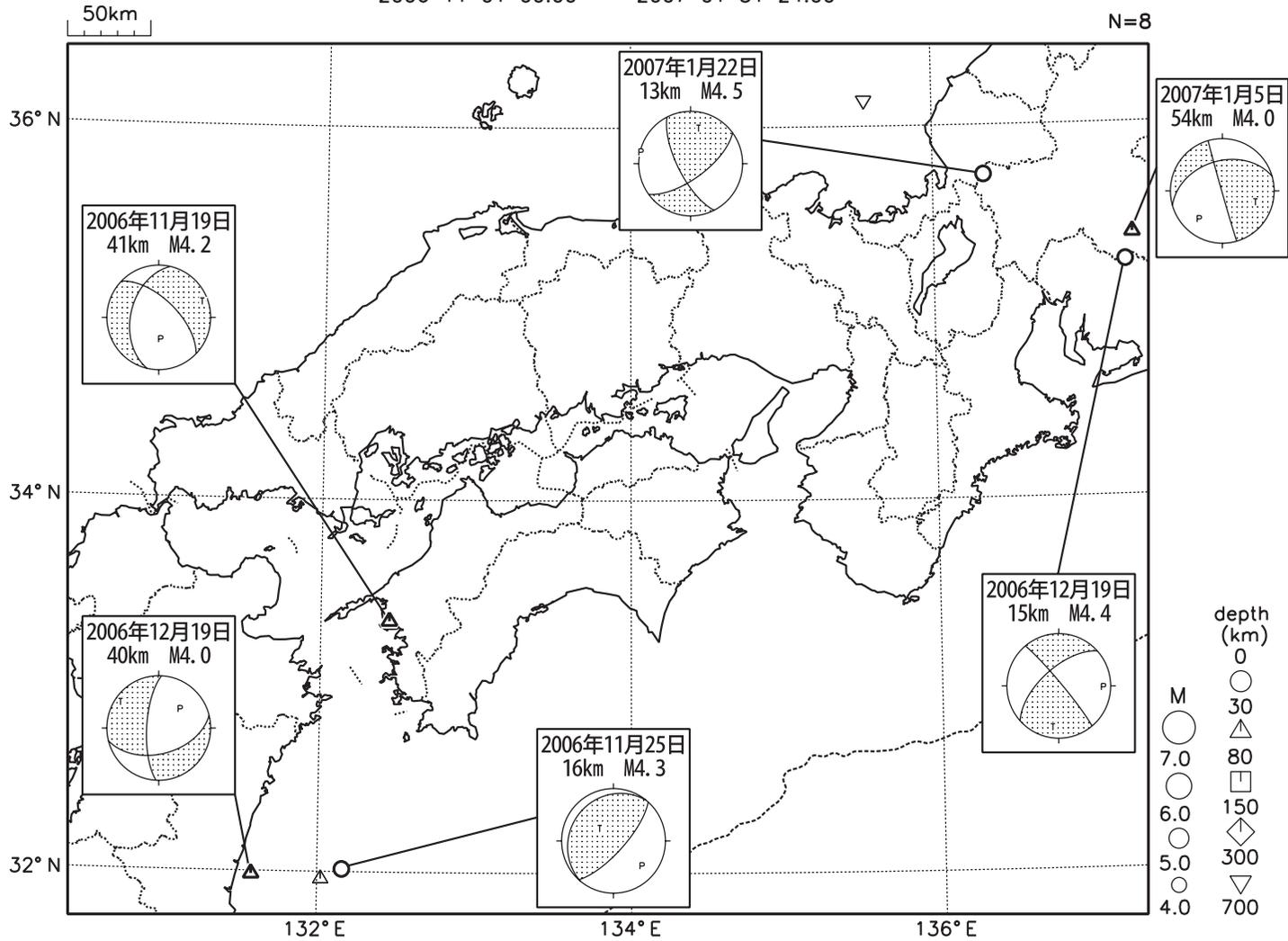
月日	震央地名	規模 (M)	深さ (km)	最大震度	
11月19日	愛媛県南予	4.2	41	3	(第5図)

2007年

月日	震央地名	規模 (M)	深さ (km)	最大震度	
1月6日	京都府南部	3.1	11	1	(第6図)
1月6日	兵庫県南東部	3.1	15	1	(第6図)
4月26日	和歌山県北部	4.0	7	3	(第7図)

# 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2006年11月~2007年1月、 $M \geq 4.0$ )

2006 11 01 00:00 -- 2007 01 31 24:00



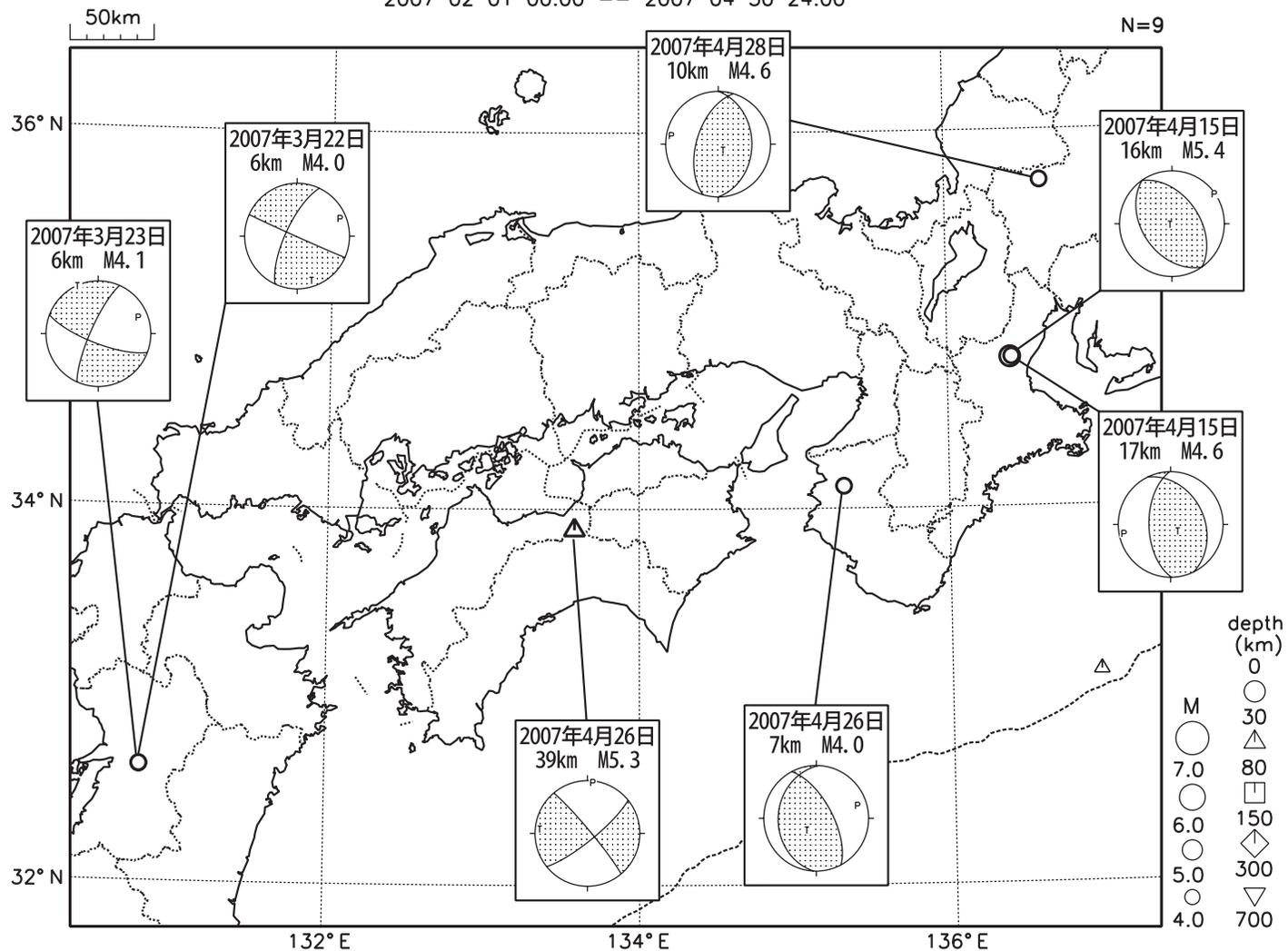
図中の吹き出しは、 $M4.0$ 以上

第1図(a) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (2006年11月~2007年1月,  $M \geq 4.0$ , 深さ $\leq 700$ km)

Fig.1(a) Seismic activity in and around Kinki, Chugoku and Shikoku districts (November 2006 - January 2007,  $M \geq 4.0$ , depth  $\leq 700$ km).

# 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2007年2月~2007年4月、 $M \geq 4.0$ )

2007 02 01 00:00 -- 2007 04 30 24:00



図中の吹き出しは、 $M4.0$ 以上

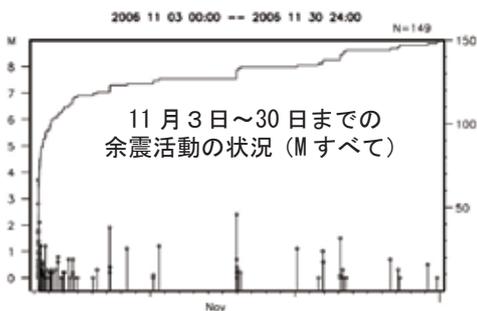
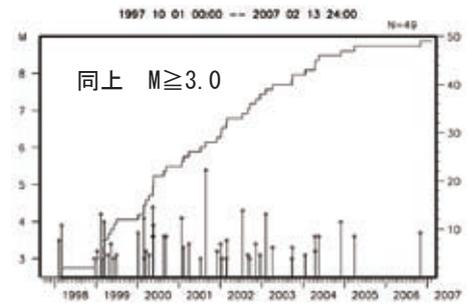
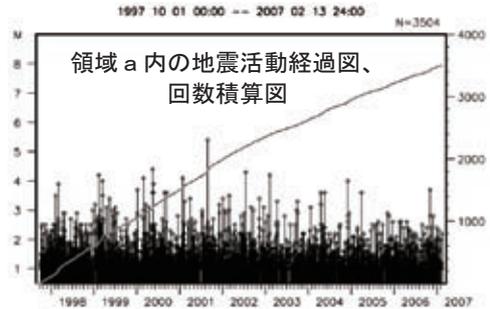
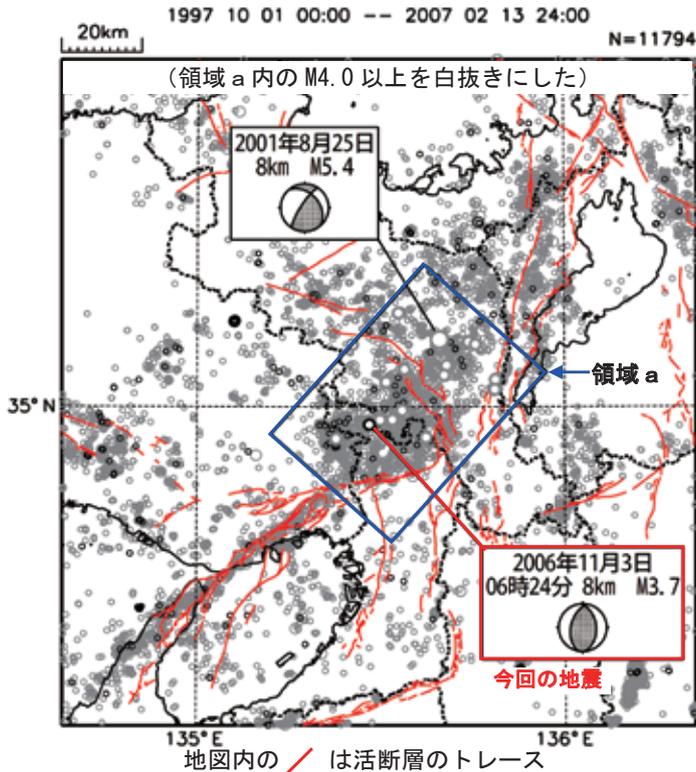
第1図(b) つづき (2007年2月~4月,  $M \geq 4.0$ , 深さ  $\leq 700$ km)

Fig.1(b) Continued (February - April 2007,  $M \geq 4.0$ , depth  $\leq 700$ km).

# 11月3日 大阪府北部の地震

**A**

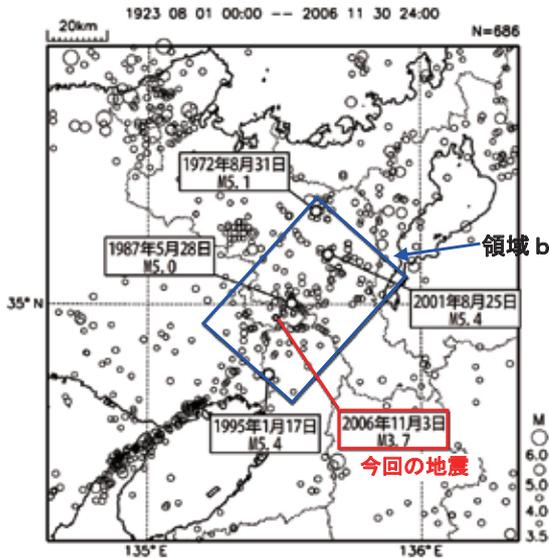
震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 1.0$ )



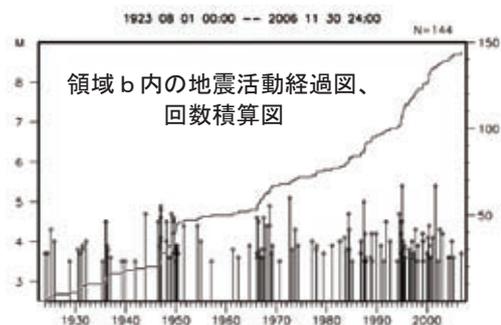
2006年11月3日06時24分に大阪府北部の深さ8kmでM3.7(最大震度4)の地震が発生した。余震活動は3日間ほどでほぼ収まり、その後は散発的な活動が続いている。今回の地震の震央付近は、活発な地震活動域であるが、2002年頃から微小な地震も含めた地震回数が少ない状態で推移している。M3.0以上についてもここ数年少ない状況が続いている。(A)

**B**

震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 3.5$ )



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、M6.0以上の地震は発生していない。また、最近の活動は、1995年1月17日の兵庫県南部地震(M7.3)の影響で活発化した状態から、それ以前のレベルに戻りつつあるようにも見える。(B)

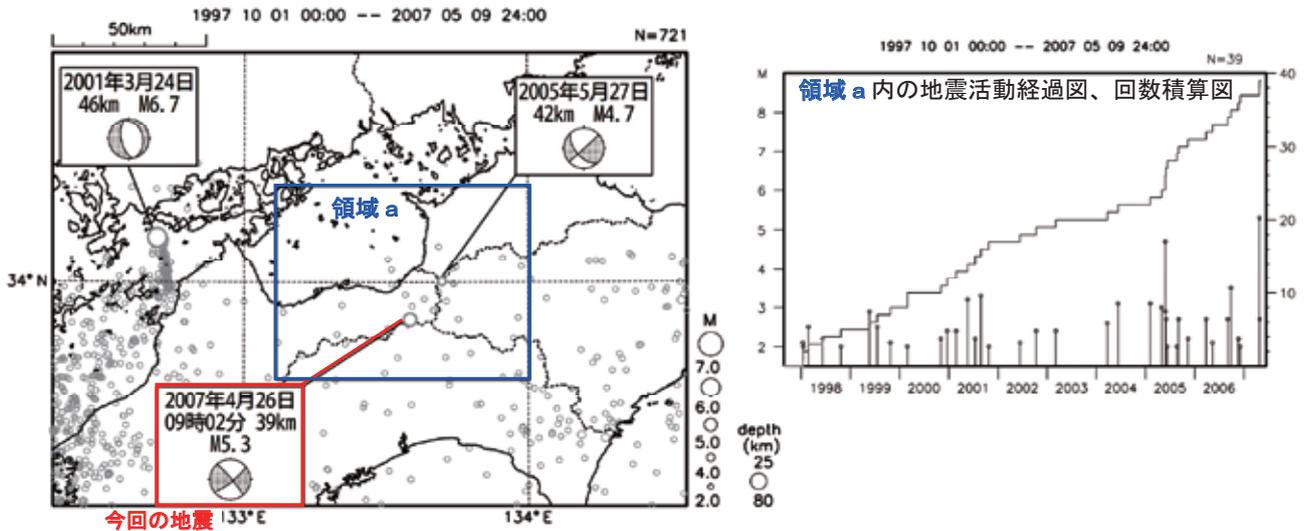


第2図 11月3日大阪府北部の地震

Fig.2 The earthquake in the northern part of Osaka prefecture on Nov. 3.

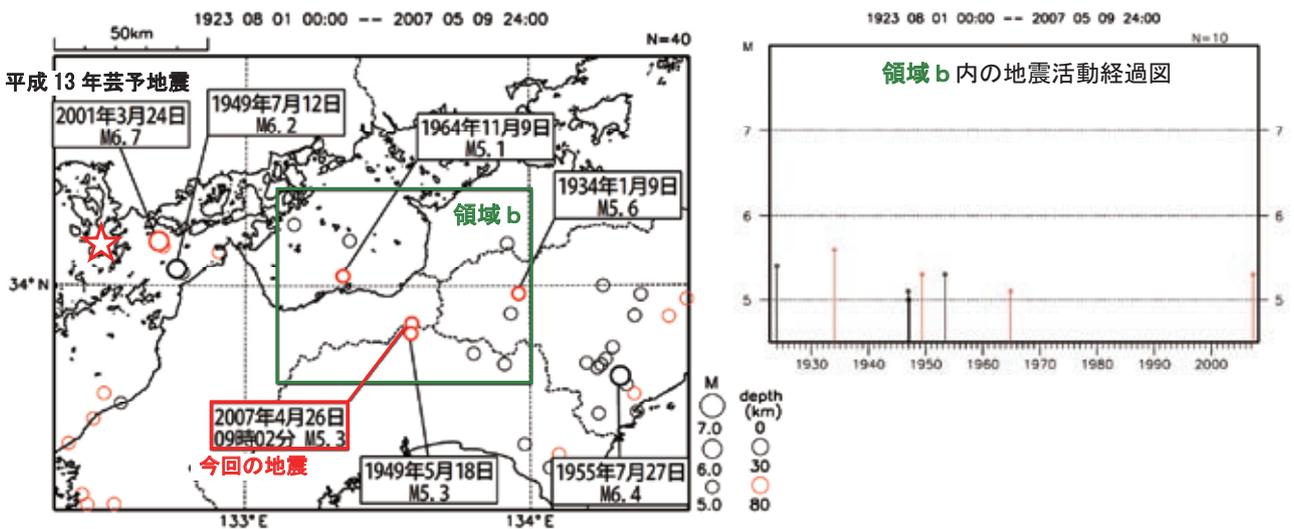
## 4月26日 愛媛県東予の地震

**A** 震央分布図（1997年10月以降、 $M \geq 2.0$ 、深さ25km~80km）



2007年4月26日09時02分に愛媛県東予の深さ39kmでM5.3（最大震度4）の地震が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部の地震である。発震機構は東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。今回の地震の震源付近では、2005年5月27日にM4.7の地震が発生している。最近10年程度の活動を見ると、ここ数年はやや活発な状況で推移している。（**A**）

**B** 震央分布図（1923年8月以降、 $M \geq 5.0$ ）



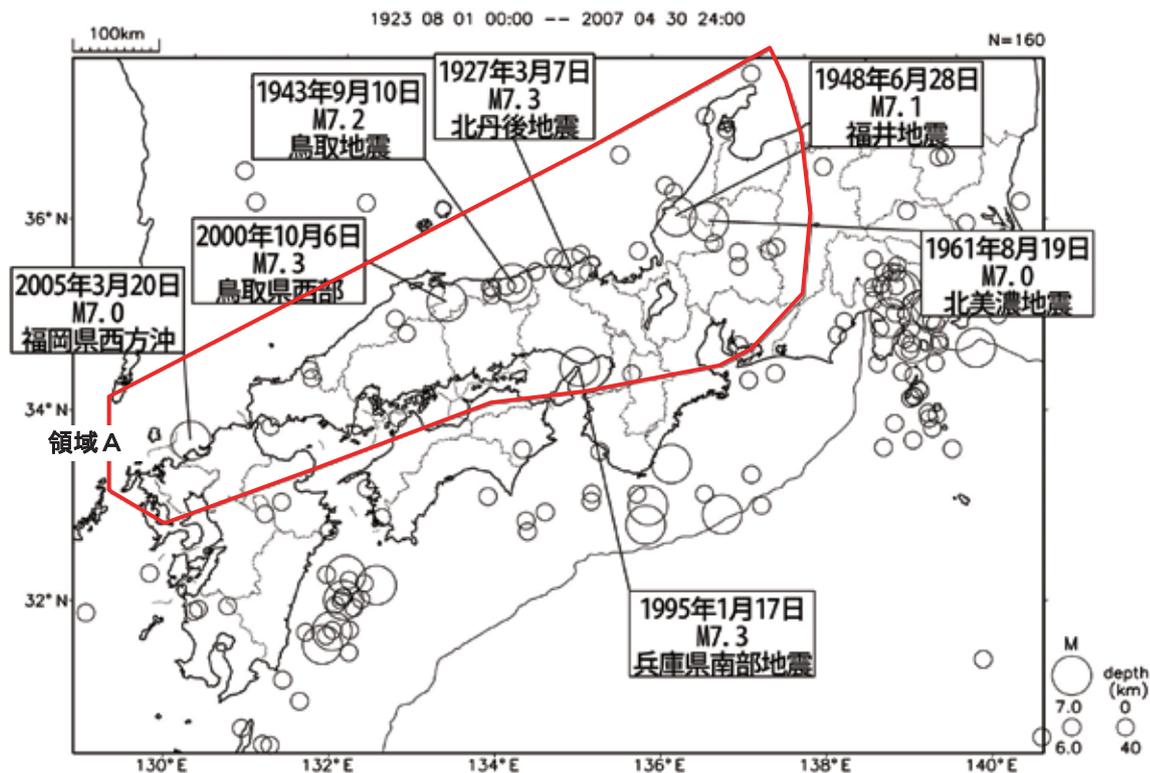
☆ は、1905年の芸予地震(M7.2)の震央位置

1923年8月以降の活動を見ると、今回は、1964年以来約40年ぶりのM5.0以上の地震であった。四国から瀬戸内地方にかけて分布するフィリピン海プレートの地震に関しては、1905年（M7.2）および2001年（M6.7）の芸予地震がよく知られているが、今回の地震の震央付近にはM6.0以上の地震は知られていない。（**B**）

第3図 4月26日愛媛県東予の地震

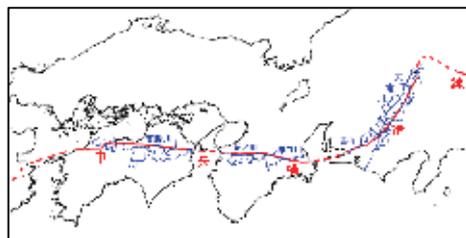
Fig.3 The earthquake in Toyo region, Ehime prefecture on Apr. 26.

## 最近の西日本の地震活動について

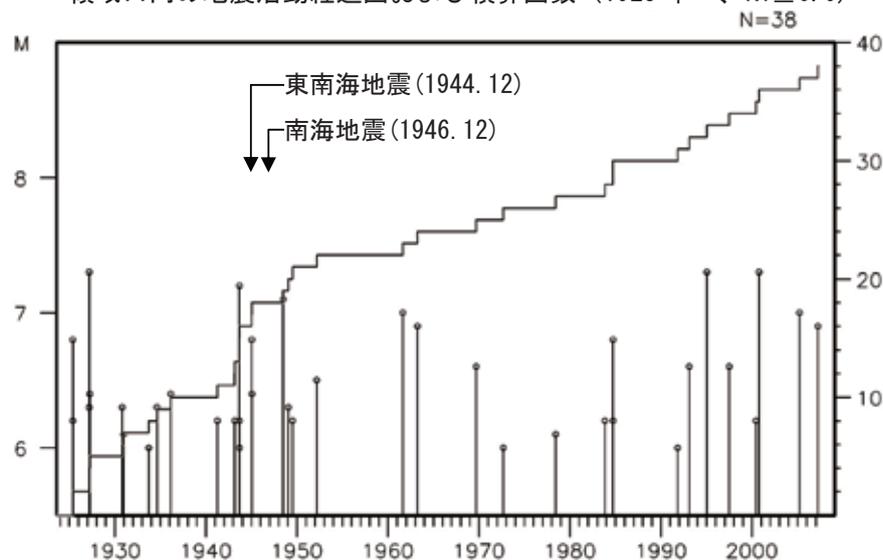


1923年8月以降の、西日本内帯における地震の発生状況を調べてみた。(M $\geq$ 6.0、深さ0-40km)

\* 内帯：ここではフォッサマグナの西縁、中央構造線および、島原地溝帯の北縁を境界とした。



領域A内の地震活動経過図および積算回数 (1923年～、M $\geq$ 6.0)

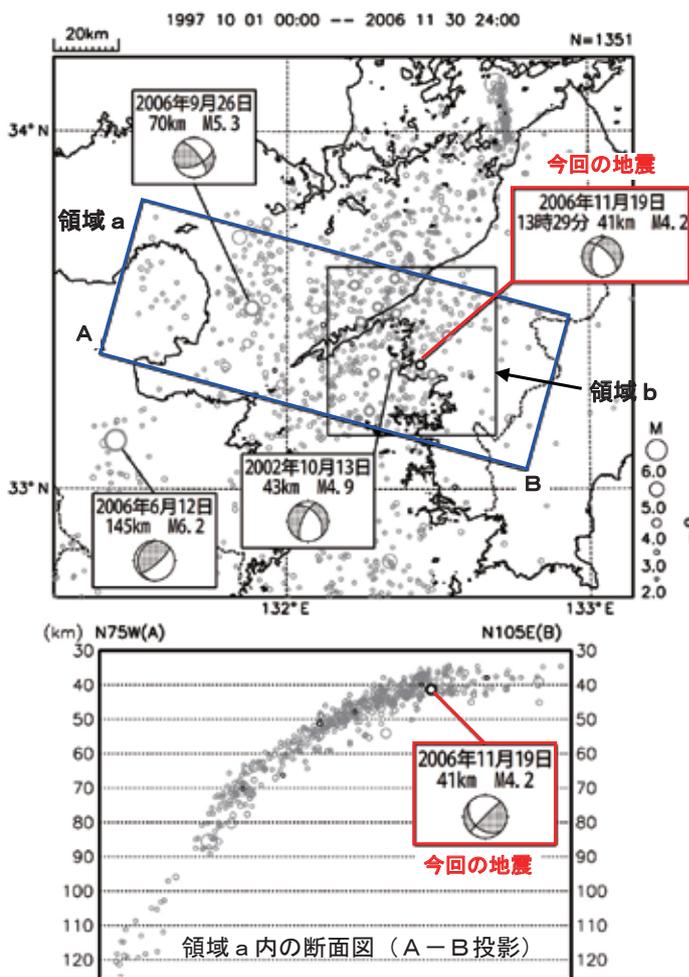


1923年8月以降のM6.0以上の地震の活動経過からは、昭和の東南海・南海地震の前後(1930年代～40年代頃)で西日本の内陸域において見られた活発な地震活動と比較して、最近が同等に活発な状況にあるとは認められない。

第4図 最近の西日本の地震活動について  
Fig.4 Recent seismic activity in western Japan

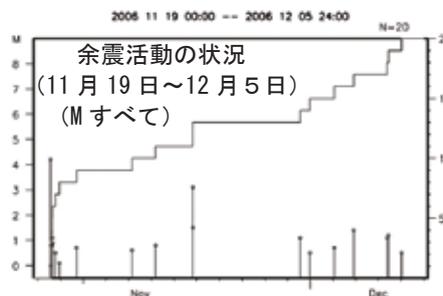
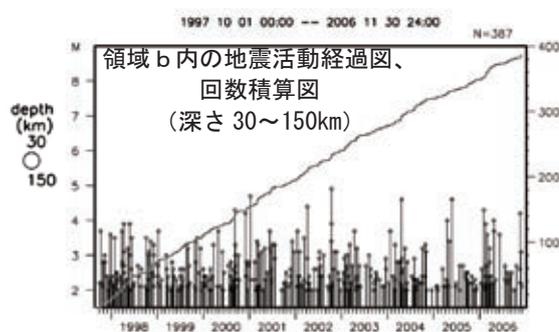
# 11月19日 愛媛県南予の地震

**A** 震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 2.0$ 、深さ30~150km)

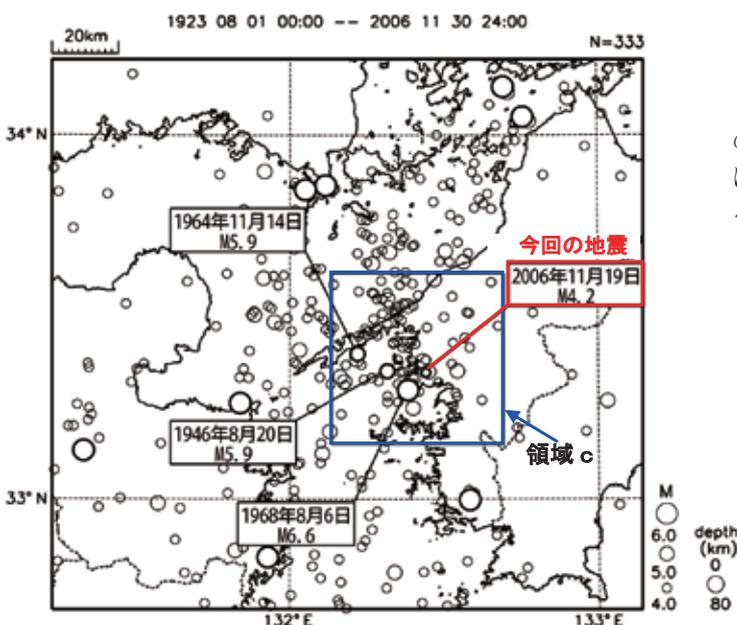


2006年11月19日13時29分に愛媛県南予の深さ41kmでM4.2(最大震度3)の地震が発生した。発震機構は東北東-西南西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部の地震である。余震はM1.0前後の小規模なものを中心に散発的に続いている。最大はM3.1であった。

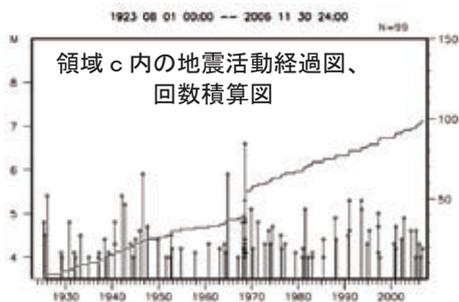
今回の地震の震源付近では、ほぼ定期的に地震活動があり、M4~5程度の地震が時々発生している。 (A)



**B** 震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 4.0$ )



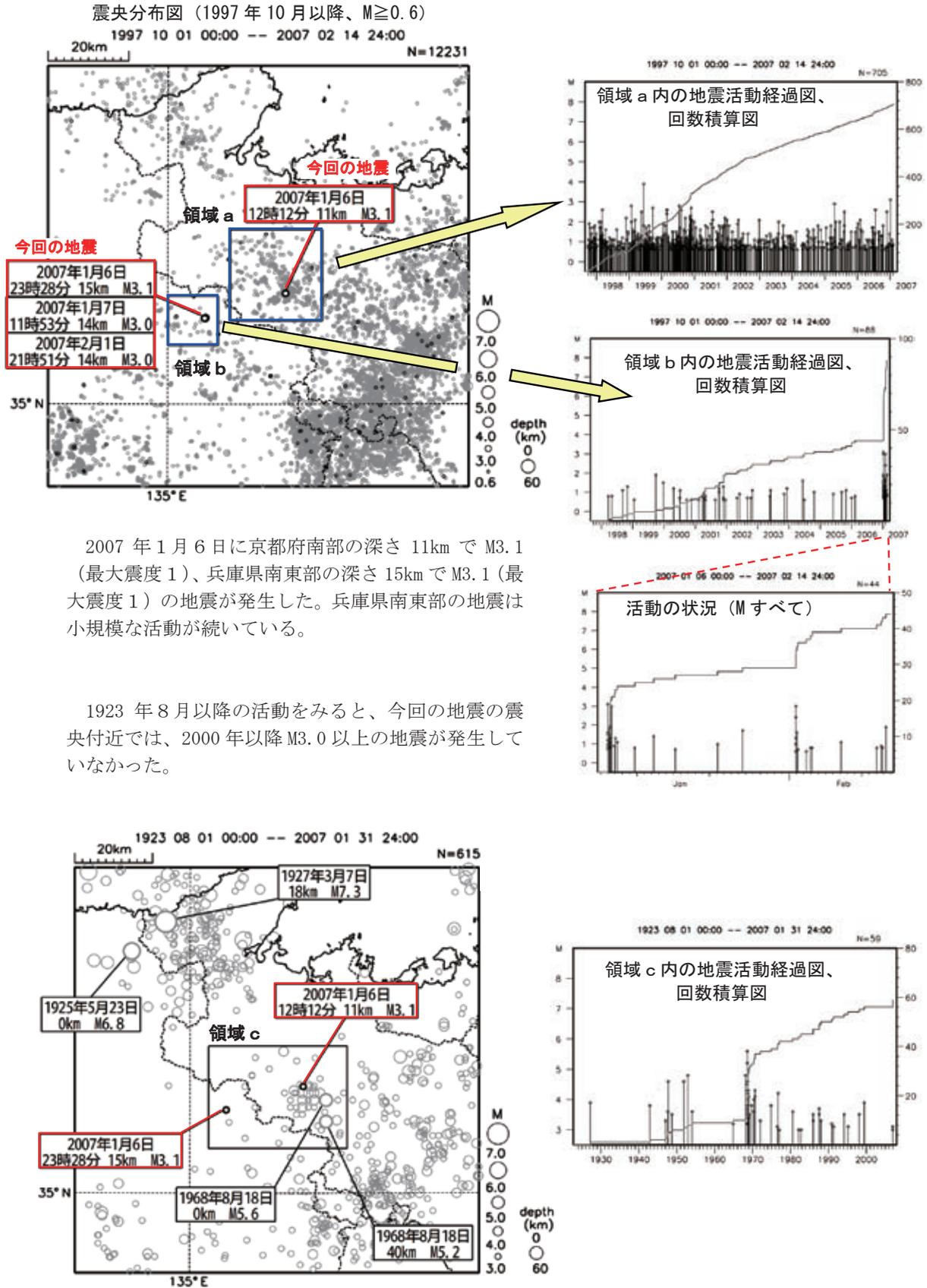
1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、1968年8月6日にM6.6の地震(深さ40km)が発生している。(B)



第5図 11月19日愛媛県南予の地震

Fig.5 The earthquake in Nanyo region, Ehime prefecture on Nov. 19.

# 京都府南部、兵庫県南東部の地震活動

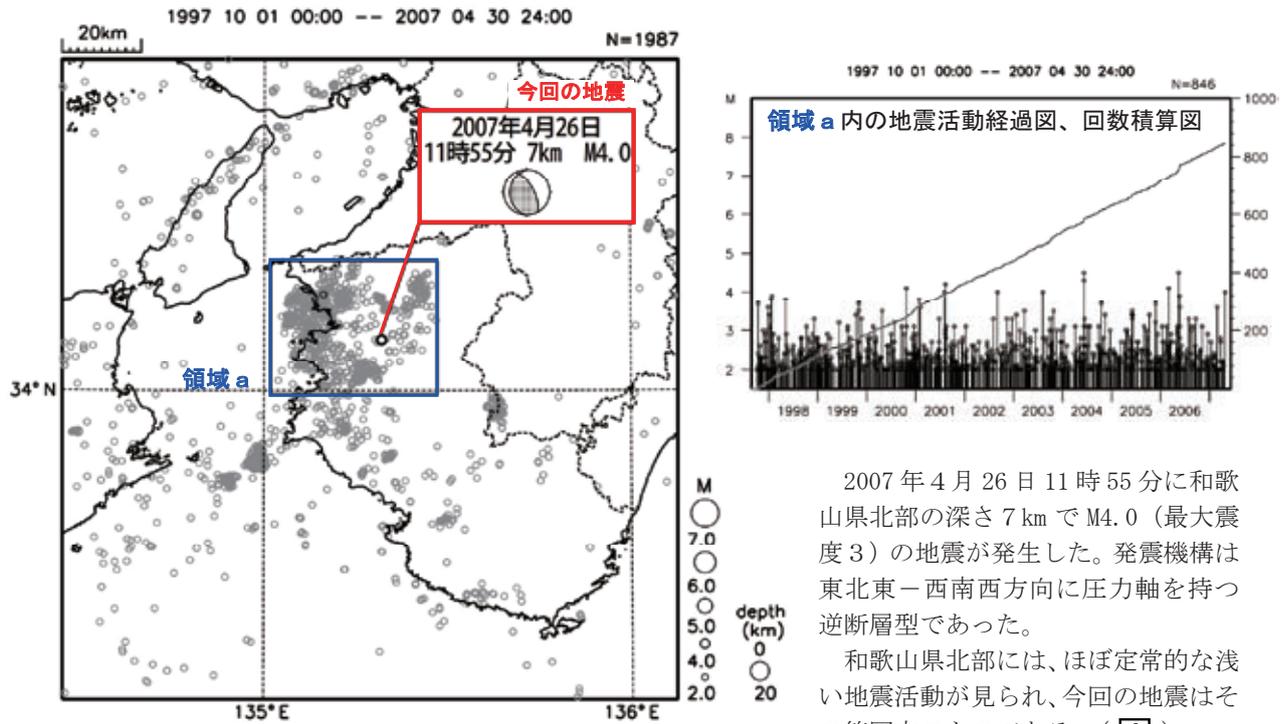


第 6 図 京都府南部，兵庫県南東部の地震活動

Fig.6 Seismic activity in the southern part of Kyoto prefecture and the southeastern part of Hyogo prefecture

## 4月26日 和歌山県北部の地震

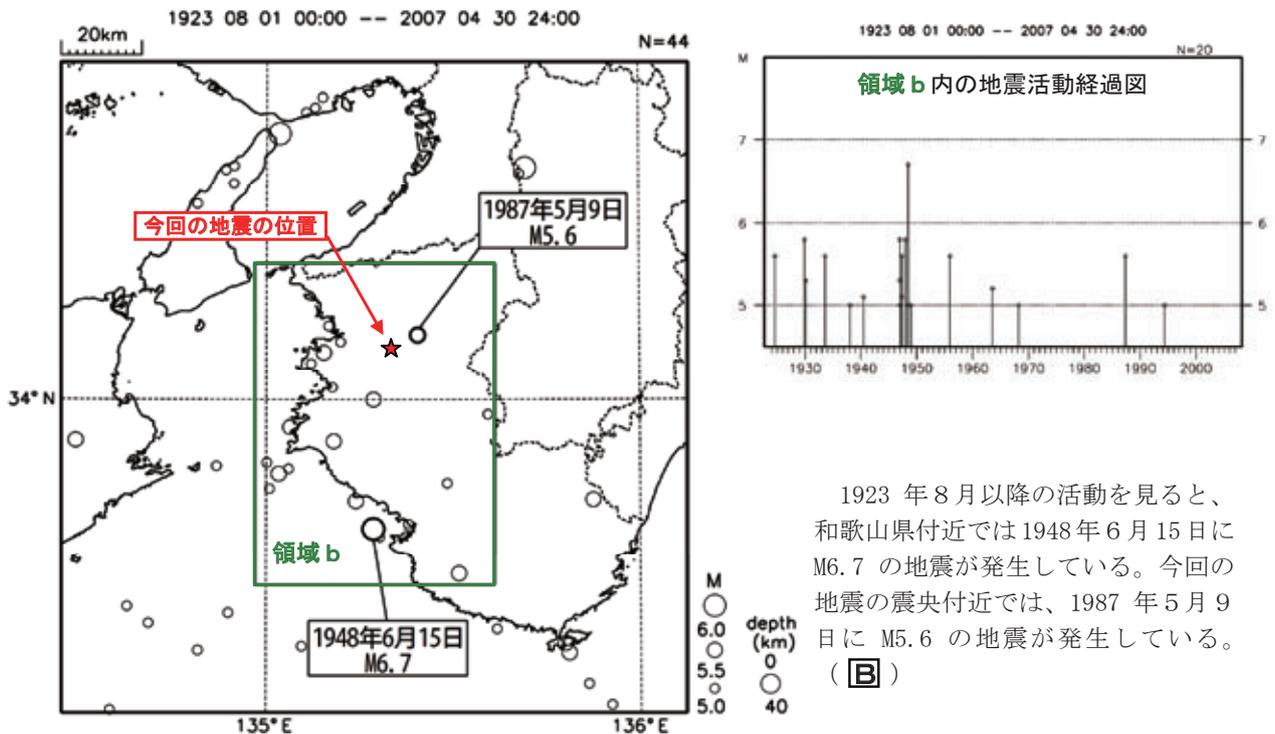
**A** 震央分布図（1997年10月以降、 $M \geq 2.0$ ）



2007年4月26日11時55分に和歌山県北部の深さ7kmでM4.0（最大震度3）の地震が発生した。発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

和歌山県北部には、ほぼ定常的な浅い地震活動が見られ、今回の地震はその範囲内のものである。（**A**）

**B** 震央分布図（1923年8月以降、 $M \geq 5.0$ ）



1923年8月以降の活動を見ると、和歌山県付近では1948年6月15日にM6.7の地震が発生している。今回の地震の震央付近では、1987年5月9日にM5.6の地震が発生している。（**B**）

第7図 4月26日和歌山県北部の地震

Fig.7 The earthquake in the northern part of Wakayama prefecture on Apr. 26.